

令和3年度第1回 東京都北区自立支援協議会 議事要旨

1 日時

令和3年8月6日(金)

2 議事

- (1) 令和2年度専門部会活動報告及び令和3年度専門部会委員名簿等について
- (2) 北区障害者計画等の進捗状況について
- (3) 地域生活支援拠点等の整備状況について
- (4) 連絡事項

3 議事の状況

東京都に緊急事態宣言が発令されていることや感染力が強い変異株の影響により新型コロナウイルス感染症の感染者が急増している状況を踏まえ、感染拡大防止の観点から、書面開催として行われた。

- (1) 令和2年度専門部会活動報告及び令和3年度専門部会委員名簿等について
資料3～4に基づき、書面による協議が行われた。
- (2) 北区障害者計画等の進捗状況について
資料5～7に基づき、書面による協議が行われた。
- (3) 地域生活支援拠点等の整備について
資料8に基づき、書面による協議が行われた。
- (4) 連絡事項
今後の開催予定について、書面により通知した。

4 議事の結果

委員から提出された意見とそれに対する回答は、別紙のとおり。

令和3年度第1回 東京都北区自立支援協議会における意見と回答について

1. 令和2年度専門部会活動報告及び令和3年度専門部会委員名簿等について

No.	意見の要旨	区の考え方
1	書面開催が多くなり、活動回数が減っています。Web会議の構築が難しいのは承知していますが、コロナ禍の終息が見込めない中、本格的にリモート会議の構築を目指さないと、活動が先細りしていくことを懸念しています。行政がイニシアチブをとる必要があるのではないかと思います。	令和3年度から、一部の専門部会においてWeb会議を導入しています。部会委員が意見交換できるよう、引き続きWeb会議の活用に向けて検討してまいります。
2	コロナ禍に集まって開催するリスクを考えると、書面開催やWeb会議で開催する以外に方法は無いと思いますが、現状では、委員同士の意見交換の場が無いままになりそうです。生活環境等の違いがあっても、誰でも参加出来る環境づくりが必要ではないのかなと考えています。	
3	コロナ禍で書面開催ですが、よろしくをお願いします。	
4	コミュニケーション支援シート一つとっても、知的障害や聴覚障害等立場や障害程度により使い方が異なるようです。状況により判断したり、一つの方法だけではなく多角的に見ないといけないと感じました。	コミュニケーションの支援方法は、障害種別、程度等により異なるため、引き続き障害及び障害者への理解促進を図ってまいります。
5	医療的ケア児・者支援部会の報告について、支援を総合的に調整するコーディネーターの配置について、研修修了者を複数確保するようお願いいたします。	他自治体のコーディネーター配置状況を研究するとともに、医療的ケア児とその家族が相談しやすい場所に配置できるよう検討を行います。
6	専門部会に初めて参加した。非常に細かいところまで熱心に議論を重ねていることに感心した。	引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。
7	基幹相談支援センター長を担っている人が、相談支援部会のメンバーではなく、別の部会の部会長となっていることについて、理解しにくいです。	ご意見について、参考にさせていただきます。なお、基幹相談支援センターの職員は相談支援部会にも所属しております。
8	多様性社会推進課と教育総合相談センターから、権利擁護部会へ参加してもらうことは出来るのでしょうか。障害者計画進捗状況調査結果を読むと、権利擁護部会と同じような目的の活動をしているように感じました。	ご意見について、参考にさせていただきます。専門部会の委員構成については、必要に応じて見直しを図ってまいります。

令和3年度第1回 東京都北区自立支援協議会における意見と回答について

2. 北区障害者計画等の進捗状況について

No.	意見の要旨	区の考え方
1	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築についての提起、重度障害者グループホーム「ららたきのがわ」の開設、誠にご苦労さまです。関係各位に敬意を表します。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が深刻化する中で、計画の策定にご協力いただきました委員の皆さまに厚く御礼申し上げます。計画に基づき、引き続き障害のある方への支援体制の整備・充実に努めてまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。
2	これほど広い分野にわたるものをまとめるのは大変だと思います。また、時代の流れに応じる苦労を感謝しております。	
3	新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、北区障害者計画2021は皆様の努力により順調に進んでいると思われます。今後は人材の育成に目標を置き、障害福祉が魅力のある職種になるように考えていきたいです。	
4	コロナ禍にあって、物事の先行きが見えずらくなっている。ただ過度に恐怖にかられ計画の進捗が遅れるのは避けたいところだと思う。みなさん熱意を持って真剣に取り組んでいると思うが、地道に積み上げていってほしいと思った。	
5	基幹相談支援センターについて、その基本となるあり方、大切にしていくこと、担っていただくことが、よくみえません。	基幹相談支援センターは、障害のある方や家族の相談に応じるとともに、地域の相談支援事業者をサポートする相談支援の中核的な役割を担う機関です。関係機関との連携を密に取りながら、相談支援事業者への指導・助言や連携強化のための連絡会開催等の事業を行います。
6	就学相談に関して、共生社会をめざしている今、小さいときから別の場所での教育をすすめられていく方針があまりにも強く、子どもの数も少なくなっているときだからこそ、みんな一緒の方向へいかれないか。	ご意見について、参考にさせていただきます。また、機会を捉えて、所管部署に情報提供いたします。
7	医療的ケアを必要とする方が増えているように感じます。受入れ可能な施設が少ないので、医療的ケアに関して話し合う必要があると思います。	引き続き「医療的ケア児・者支援部会」を開催し、地域の課題や対応策について検討してまいります。
8	今年3月に開設された重度障害者グループホーム「ららたきのがわ」には、4名の肢体不自由者が入居されたと聞いています。ありがとうございました。ニーズはまだあるので、重度身体障害者が入居できるグループホームや医療とも連携できる入所施設、その他緊急一時や短期入所施設などを、一日も早く増設、新設してほしい。	計画に基づき、障害者の高齢化や「親なき後」等に備えるため、重症心身障害者や医療的ケアを要する障害者等重度障害者を支えるグループホームや短期入所施設の整備・誘導に努めてまいります。
9	物品販売の機会があまりないので、出店数を少なくして、一定期間色々な施設が交代で販売できる場があると助かります。	ふれあいマルシェは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。今後、地域の感染状況等に留意しながら、販売機会の確保に努めてまいります。

No.	意見の要旨	区の考え方
10	精神障害についての福祉教育プログラムも実施できると良いなと思います。	ご意見について、参考にさせていただきます。また、機会を捉えて、所管部署に情報提供いたします。
11	就労定着支援事業による職場定着率が高いのは素晴らしいと感じました。	第6期障害福祉計画では、就労定着率8割以上の就労定着支援事業所の割合を7割とするという目標を設定しました。引き続き目標達成に向けて、今後の推移を注視してまいります。
12	障害のある子どもに対するサービスとして、1月当たり2名が保育所等訪問支援を利用されています。ここに医療的ケアが必要な場合、看護師支援も入れてほしいです。	ご意見について、参考にさせていただきます。また、機会を捉えて、所管部署に情報提供いたします。
13	福祉人材の確保・定着について、区の職員として福祉職や保健師の確保が必要。専門職として雇用された職員が煩雑化する事務処理に時間を取られ、行政が本来やるべきことをアウトソーシングし、行政から“現場”が無くなっていくことで、地域と行政は更に乖離していくように思います。人の生命に関わる部分については、普段から余力を残していないと有事のときに対応できなくなると思います。	ご意見について、参考にさせていただきます。
14	各分野において、こまめに計画・実績を積み上げている様子を拝見させていただきました。ただ、令和2年度の実績欄に斜線がひかれているところがいくつかあります。なぜ実績がないのか、説明が必要と考えます。	令和3年度からの新規事業については、2年度の実績欄は斜線を引いております。

令和3年度第1回 東京都北区自立支援協議会における意見と回答について

3. 地域生活支援拠点等の整備状況について

No.	意見の要旨	区の考え方
1	障がいのある方やそのご家族が安心して地域生活を継続するために、このような拠点施設ができることは非常に重要であると考えます。今後どのような支援が行われていくのかご報告があると思いますが、素晴らしい取組みだと思しますので、ぜひ継続していただきたいと思ひます。	地域生活支援拠点等については、障害のある方が地域で安心して暮らすための機能が担保されるよう、自立支援協議会において、引き続き運営状況等を報告・検討するなど体制の構築に努めてまいります。
2	拠点づくりの理念・必要性はその通りで、障害者が住み慣れた地域で、安心安全に、生きがいをもって生活できるよう支援をお願いいたします。	
3	親の高齢化が進んでいます。このような施設が各地域に欲しい。都営住宅、区営住宅、マンションの建て替え、学校跡地利用、特養建設等に積極的に働きかけ、土地を確保し、拠点等を増やして欲しいと思ひます。	計画に基づき、障害者の高齢化や「親なき後」等に備えるため、重度障害者を支えるグループホームや短期入所施設等の拠点等の整備に努めてまいります。
4	「ららたきのがわ」や「就労・生活支援センター飛鳥晴山苑」が緊急時の受入れをしてくれたことが大変よいことだと思ひます。これからもどんどん増やしてください。	
5	親亡き後に備えた一人暮らしの体験の場があることは、大変良いと思ひます。グループホームに入ることまではまだ考えていないが、まず一人暮らしを体験したいというニーズは多くあります。活用してもらいたいです。	ご意見について、参考にさせていただきます。体験の機会の提供を通じて、親元からグループホーム、一人暮らし等への移行をしやすくする支援体制の整備に努めてまいります。
6	短期入所＝宿泊体験というイメージがない方もいらっしゃるので、少しずつでも宿泊体験をして、緊急時に備えるための利用にもつなげられたらと思ひます。	
7	両親をなくして10年になりますが、グループホームで生活した後、支援の方々やヘルパーさんに手伝ってもらいながら希望していた一人暮らしをしています。それぞれ希望した暮らしができるといいなと思ひました。	
8	コロナ終息次第及び自立支援協議会各部会の進捗状況更には令和5年度末を目途に、有志による関係施設・事業所の見学及び利用者との意見交換、区民へのアピールの場の設定もいかがと思ひています。	ご意見について、参考にさせていただきます。今後、地域生活支援拠点等の業務内容や運用状況について、区民への周知に努めてまいります。
9	新しい事業なので、良いものになるようにと期待と微力ながら役に立てればと思ひています。	引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。
10	相談機能として、医療的ケア児等コーディネーターの配置が予定されていますが、ぜひ病院と連携しやすいように、看護職をコーディネーターとして配置していただきたいです。	ご意見について、参考にさせていただきます。医療的ケア児とその家族の状況を踏まえ、必要な支援の利用調整が十分に行える職種の方を配置できるよう検討してまいります。

No.	意見の要旨	区の考え方
11	<p>介護者が新型コロナウイルス感染症陽性、もしくは濃厚接触者になった場合の障害者（医療的ケアも含め）の1か月程度の受入れ体制（施設や介護者確保）を早急に整備してほしい。</p>	<p>区では、在宅で障害者を介護する家族等が新型コロナウイルス感染症に感染し、介護が困難となった場合において、区が委託した短期入所施設で障害者を緊急一時的に受入れ、必要な介護を行う事業を開始しました。感染した家族等が安心して療養に専念でき、障害者が365日地域で安心して暮らすことができるよう、引き続き本事業を推進してまいります。</p>